

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公開番号】特開2002-235789(P2002-235789A)

【公開日】平成14年8月23日(2002.8.23)

【出願番号】特願2001-34405(P2001-34405)

【国際特許分類】

F 16 F	9/44	(2006.01)
A 47 C	3/30	(2006.01)
F 16 F	9/00	(2006.01)

【F I】

F 16 F	9/44	
A 47 C	3/30	
F 16 F	9/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月25日(2007.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 内部に加圧ガスが封入されたシリンダと、

該シリンダ内に摺動可能に設けられ該シリンダ内を2室に隔成するピストンと、

一端がピストンに連結され、他端側がシリンダ外部に延出されたロッドと、

前記2室間を連通する通路と、

該通路に設けられ、該通路を開閉する弁棒を有するバルブ機構と、

前記シリンダと前記バルブ機構とを内部に収納する外筒とを備え、

該バルブ機構の弁棒の変位により前記通路が開閉されて前記ロッドの前記シリンダに対する突出量を調整可能とするガススプリング装置において、

前記バルブ機構は、前記弁棒の端部に当接し、外部より操作可能な搖動ピンを備え、前記搖動ピンが傾斜されると前記弁棒を軸方向に移動させて前記通路を開とすることを特徴とするガススプリング装置。

【請求項2】 内部に加圧ガスが封入されたシリンダと、

該シリンダ内に摺動可能に設けられ該シリンダ内を2室に隔成するピストンと、

一端がピストンに連結され、他端側がシリンダ外部に延出されたロッドと、

前記2室間を連通する通路と、

該通路に設けられ、該通路を開閉する弁棒を有するバルブ機構と、

前記シリンダと前記バルブ機構とを内部に収納する外筒とを備え、

該バルブ機構の弁棒の変位により前記通路が開閉されて前記ロッドの前記シリンダに対する突出量を調整可能とするガススプリング装置において、

前記バルブ機構の前記弁棒の端部に当接する第1のカム部材と、

該第1のカム部材に離間可能に当接し、外部からの操作により軸周りに回動して前記第1のカム部材より離間方向に移動する第2のカム部材と、

を備え、前記第2のカム部材が回動されることにより前記弁棒を軸方向に移動させて前記通路を開とすることを特徴とするガススプリング装置。